

『KISS²』稼働にあたって

雑誌閲覧課 近藤 裕子

KISS² (Kinki University Information System of Serials) 雑誌目録検索システムが6階雑誌閲覧室で稼働し始めて、はや数ヵ月が過ぎすっかり6階の顔になりました。

OPAC (Online Public Access Catalog) の提供は、大学図書館サービスの一環として一般的なものになりつつあります。本学においても雑誌目録システムの公開を従来から望む声も多く、KISS (Kinki University Information Service System) 図書目録検索システムの開発に一応の目処がついた1993年9月に雑誌システムの開発に着手しました。

KISS²の開発に際しては、学術情報センターとの対応を十分に意識したシステムを目標とし、まず学術情報センターの目録システムに本学所蔵の雑誌のデータを登録・更新し、さらにそのデータを KISS²システムへ取りこみました。また本学独自の請求番号等のデータを付加するために目録のカードとの照合をし追加入力するという作業を行いました。このように、データの追加修正作業と並行して、利用者がより使いやすいように画面表示、及び画面展開の構成の検討を幾度も重ね、プログラムの修正を行いました。そして、ようやく一般公開に漕ぎ着けることができたのです。

従来の目録カードと比較し、KISS²には次のような利点があります。

1. 誌名の他に ISSN・出版者・請求番号・キーワードなどの項目があり多方面からの検索が可能になりました。特にキーワード検索ではタイトルの一部のワードさえわかっていたら、その文字が含まれ

るすべての資料を検索表示してくれます。

例えば「Tetrahedron Letters」というタイトルの雑誌を探しているとしたら、目録カードでは頭の「Tetrahedron」のワードがわかっていないと検索できませんが、KISS²の場合「Letters」からでも検索可能です。

2. 掛け合わせ検索 (AND検索) が可能なので、わかっている情報を入力することで検索結果を絞り込むことができます。

例えば、キーワードと出版者がわかっているとすれば、この二つの情報を掛け合わせることで、より早く求めている雑誌を探しだすことができます。

3. 目録カードでは見落とし等による検索もれが起こる場合がありますが、KISS²ですと条件を満たす雑誌・紀要が全て表示されます。

以上の様に便利な機能をもつ KISS²ですが、やはりまだカードでしか検索できないものもあります。まず中国、韓国関係の雑誌は文字対応がとれない為、登録されていません。またマイクロ資料や、欠号の多い雑誌なども未登録の為、KISS²では検索できませんのでカードを併用しなければなりません。

KISS²を公開した時は、果してどれだけの利用があるだろうかという不安もありましたが、利用率の方は上々のようです。私たち図書館員も広報活動ワーキンググループを結成し、利用者に端末機操作を習得してもらえよう「公開端末講習会」を月一回ほど実施しています。

KISSと同様、KISS²も将来的には各資料室から見られるよう改善されつつあります。また雑誌の受け入れ状況を公開することで利用者に最新の情報を提供できるよう図書館の日常業務も含めてシステムを検討中です。このように改善課題も多数ありますが、当館も新時代の図書館へ一歩近づきました。

これからも、利用者サービスの一層の向上を目指し努力していきたいと思います。